

2016年度 産業向け財・サービスの内外価格調査

平成29年4月26日
経済産業省
経済産業政策局調査課

経済産業省では、我が国の価格構造の実態把握の一環として、1993年以降、産業向け財・サービスの内外価格調査を行っており、以下のとおり2016年度調査の結果を取りまとめた。

1. 結果の概要

- 2016年度調査における内外価格差は、総合で1.97倍の内外価格差となった。内訳をみると、中国2.67倍、韓国2.03倍、ドイツ1.62倍、米国1.55倍の順に高い。
- 「工業製品等」と「産業向けサービス」の内外価格差を比較すると、いずれの国においても産業向けサービスが工業製品等を上回り、その比率は平均で1.85倍となった。
- 内外価格差を前回調査(2014年度調査;以下「前回」という。)と比較すると、米国を除き拡大した。

2. 調査の概要

- (1) 調査対象国: 米国、ドイツ、韓国、中国
- (2) 調査対象品目: 工業製品等212品目・スペック、産業向けサービス58品目・スペック
- (3) 調査時点: 2016年7～9月
- (4) 調査価格: 需要家渡し価格(一部、工場出荷価格等)
- (5) 為替レート: 2016年7月～9月における各国の平均為替レート

為替レート出所

・対米国	1ドル	=	102.40(104.04)円	(Federal Reserve Board)
・対ドイツ	1ユーロ	=	114.32(137.74)円	(European Central Bank)
・対韓国	1ウォン	=	0.091(0.101)円	(The Bank of Korea)
・対中国	1元	=	15.36(16.88)円	(State Administration of Foreign Exchange)

注:()内は2014年7月～9月の平均為替レート

3. 調査結果

(1)内外価格差の現状

－内外価格差は、全ての国の平均で 1.97 倍。最も高い中国が 2.67 倍。－

内外価格差は、全ての国の平均で 1.97 倍となった。内訳をみると、米国 1.55 倍、ドイツ 1.62 倍、韓国 2.03 倍、中国 2.67 倍となった。

また、「工業製品等」と「産業向けサービス」の内外価格差を比較してみると、いずれの国においても、産業向けサービスが工業製品等を上回っており、平均で、産業向けサービスの内外価格差が工業製品等の 1.85 倍となった。

表1 分野別・業種別の内外価格差(2016年度)

(単位:倍)

		米国	ドイツ	韓国	中国	平均
総	合	1.55	1.62	2.03	2.67	1.97
	工業製品等	1.42	1.21	1.60	1.78	1.50
	素 材	0.94	1.14	1.38	1.60	1.27
	加工・組立	1.30	1.44	2.25	2.40	1.85
	エネルギー	2.55	1.12	1.38	1.52	1.64
	産業向けサービス	1.79	2.37	2.83	4.32	2.83
産業向けサービス ／工業製品等(倍)		1.26	1.96	1.77	2.43	1.85

表2 分野別・業種別の購買力平価(2016年度)

(単位:円/現地通貨)

		米国	ドイツ	韓国	中国
総	合	159.00	184.70	0.186	40.98
	工業製品等	145.92	138.36	0.146	27.34
	素 材	96.70	130.58	0.126	24.56
	加工・組立	132.67	164.48	0.206	36.84
	エネルギー	260.93	127.74	0.127	23.37
	産業向けサービス	183.39	271.09	0.259	66.43
2016年7月～9月における 各国の平均為替レート		102.40	114.32	0.091	15.36

$$\text{内外価格差} = \frac{\text{日本での価格 (円)}}{\text{海外での価格 (現地通貨)} \times \text{為替レート (円/現地通貨)}}$$

$$\text{購買力平価} = \frac{\text{日本での価格 (円)}}{\text{海外での価格 (現地通貨)}}$$

(2)内外価格差の推移(総合)

—総合の内外価格差は、4か国いずれの国も拡大し、中国、ドイツで大きく拡大。—

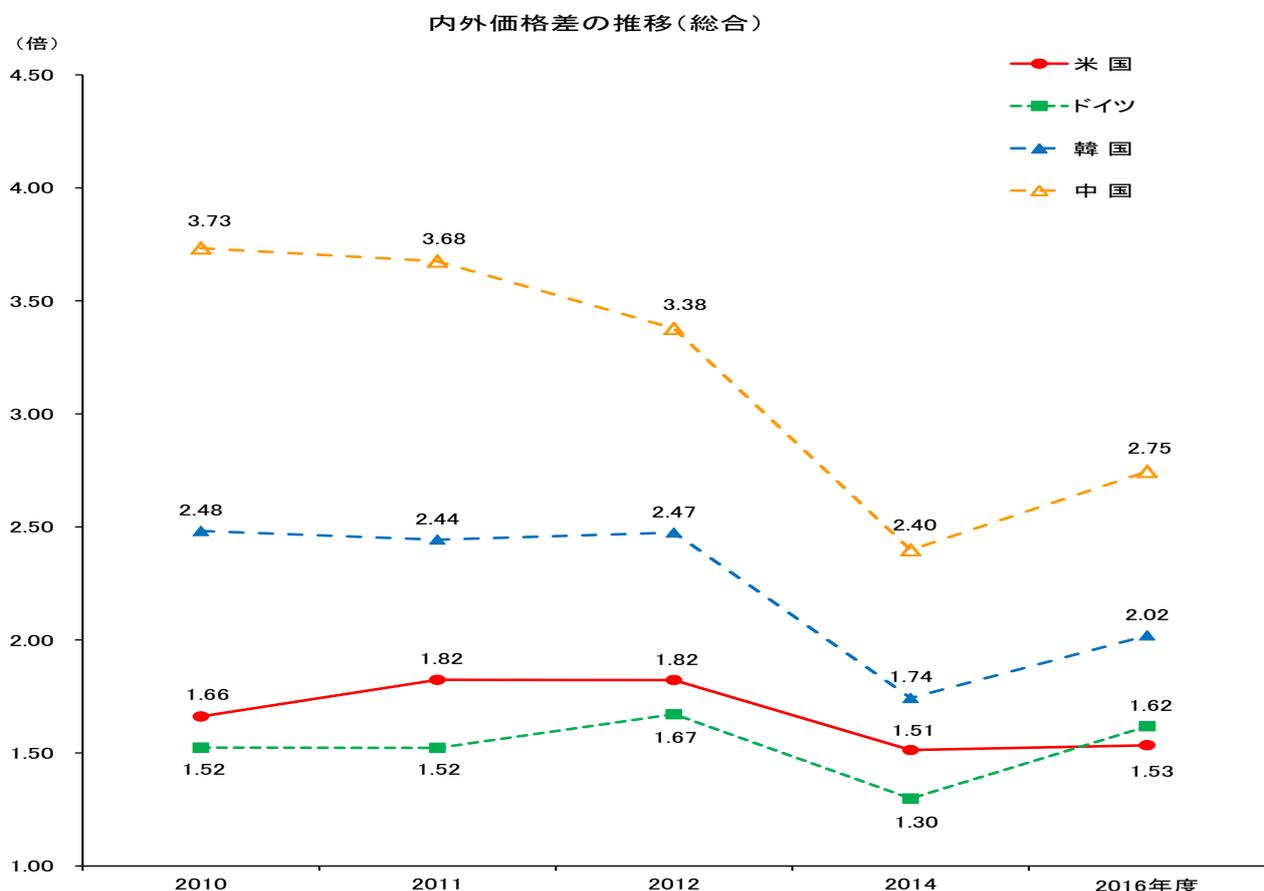
総合の内外価格差を前回と比較すると、4か国いずれの国においても拡大した。このうち中国では前回と比較し+0.35ポイント、ドイツは同+0.32ポイントと拡大。米国は+0.02ポイントとなった。

購買力平価は米国に対して増価、他の3か国に対しては減価となっている。

	米国	ドイツ	韓国	中国
2014年度	1.51	1.30	1.74	2.40
2016年度	1.53	1.62	2.02	2.75
差	0.02	0.32	0.28	0.35

	米国	ドイツ	韓国	中国
2014年度	157.37	178.81	0.177	40.47
2016年度	157.07	184.94	0.185	42.18

	米国 円/ドル	ドイツ 円/ユーロ	韓国 円/ウォン	中国 円/元
2014年度	104.04	137.74	0.101	16.88
2016年度	102.40	114.32	0.091	15.36



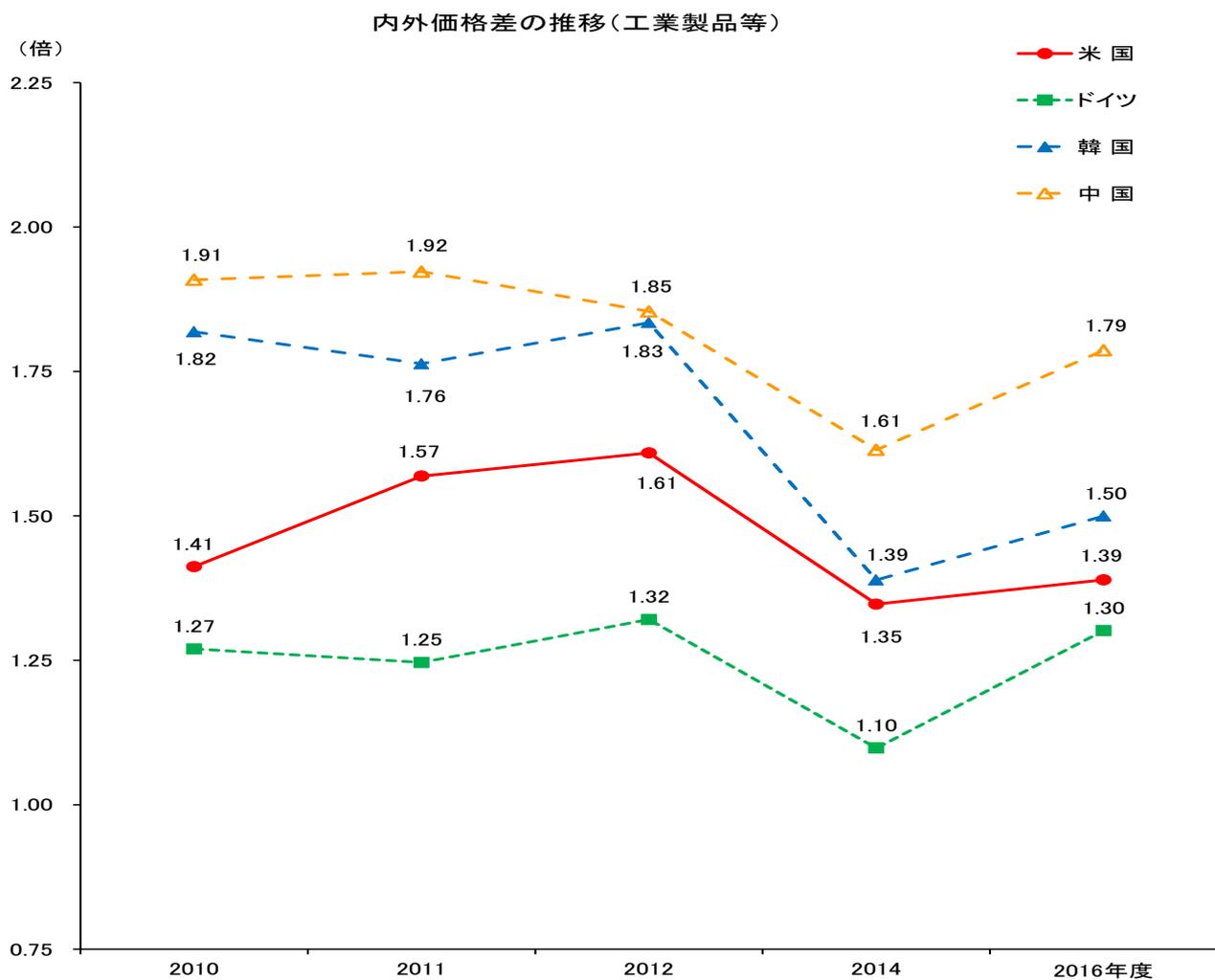
(3)内外価格差の推移(工業製品等)

－工業製品等の内外価格差は、4か国いずれの国においても拡大。－

工業製品等の内外価格差を前回と比較すると、4か国いずれの国においても拡大し、ドイツでは+0.20ポイント、米国では+0.04ポイントと拡大した。
また、購買力平価は、米国、中国に対して減価、ドイツ、韓国に対して増価している。

	米国	ドイツ	韓国	中国
2014年度	1.35	1.10	1.39	1.61
2016年度	1.39	1.30	1.50	1.79
差	0.04	0.20	0.11	0.17

	米国	ドイツ	韓国	中国
2014年度	140.16	151.26	0.141	27.24
2016年度	142.28	148.78	0.137	27.45



(4)内外価格差の推移(産業向けサービス)

—産業向けサービスの内外価格差は、米国で縮小、他の3か国で拡大。—

産業向けサービスの内外価格差を前回と比較すると、米国で▲0.02ポイントと縮小し、中国で+0.67ポイント、韓国で+0.59ポイント、ドイツで+0.54ポイントと大きく拡大した。
 購買力平価は、米国に対して増価、他の3か国に対しては減価となっている。

	米国	ドイツ	韓国	中国
2014年度	1.82	1.67	2.40	3.86
2016年度	1.80	2.21	2.99	4.53
差	▲ 0.02	0.54	0.59	0.67

	米国	ドイツ	韓国	中国
2014年度	189.46	230.17	0.243	65.14
2016年度	184.64	252.34	0.273	69.64

